

学校運営協議会(全日制部会)議事録					
	<table> <tr> <td>校名</td><td>府立春日丘高等学校</td></tr> <tr> <td>校長名</td><td>中原 光子</td></tr> </table>	校名	府立春日丘高等学校	校長名	中原 光子
校名	府立春日丘高等学校				
校長名	中原 光子				
開催日時	令和2年10月27日(火) 14:00 ~ 15:40				
開催場所	府立春日丘高等学校 1階 校長室(授業見学は各教室)				
出席者(委員)	花崎会長、藤岡委員、有福委員、辻井委員、川中委員				
出席者(学校)	中原校長、宮城教頭、松葉事務部長、池田首席、大岡首席、吉新指導教諭				
傍聴者	なし				
協議資料	(授業見学用)授業一覧および校内図、学校経営計画進捗状況				
備考					

議題等 (次第順)

- ・ 授業見学 (すべての授業を公開し自由に見学する)
- ・ 授業見学の感想など
- ・ 学校経営計画の進捗状況について

協議内容・承認事項等 (意見の概要)

○運営協議会委員発言 ●本校教員の発言

* 授業見学に関して (感想や意見)

● 現在は、全員がマスクをつけていること以外は、普通の日常と同じ感じでした。

○ 若い先生が多い。

○ 生徒はまじめに取り組んでいる。

○ 先生が丁寧な言葉遣いだと思いました。

○ 声の大きさについて、(換気のために) ドアが開いていたら隣の教室に聞こえるのでは？

● 確かに聞こえます。声の大きな先生の隣では、やりにくいこともあります。

○ 教育実習生の授業を見学しました。実習生とは思えないくらい堂々としていました。

○ 実習生は年も近く、卒業生ということもあり、友達感覚があるのかな？ また若い先生が多いこともあるのかな？ と思いました。

○ 若い先生方に指導していただくのも有意義ですね。

●塾などでアルバイトをして、慣れていることも関係していると思います。

○高校時代はすごく楽しく、この中で一生を過ごせるならいいなあと感じたことを思い出しました。生徒がしっかり集中して聞いており、ディスカッションの授業も、輪になってしっかり話しているのを見てびっくりしました。子どもたちが成長していることを実感できました。また、年配の先生方の授業はアジがあって良いと思いました。学校全体としていい雰囲気ができている。

○（私が）卒業した時は、各教室にプロジェクターがなかったので、（すべての HR 教室についているのを見て）びっくりしました。それをうまく活用出来たら、時間の短縮もできるし、読みやすい字を提示できますね。

●特に図形の表現など、板書しにくいものについては、やはり役立ちます。

○（物理の波を表現する）ウェーブマシンの授業がありましたが、事前に録画しておいてそれをプロジェクターで見せても良いのではと思いました。また、パソコンで手書き用のペンを使ったり、黒板では伝えにくいことを、パソコン・プロジェクターを利用できたら良いですね。

○やはり、もう一工夫したらという印象を受けました。

●本校での一つの課題だと思います。

○緑の黒板へプロジェクターを直接投影するのは、生徒には見えにくいのではないのでしょうか。

○新たな教具を利用した授業案を考える PT などあれば良いのかと思いました。

●google suite を土台として配信できる体制は整えることはできましたが、工夫についてはこれからです。また、各 HR 教室には（黒板に貼る）マグネットシートを配備できています。

○Web 講義に切り替わることにについて、先生方で議論をしたり、準備したりされていますか。

●まだそこまでは到達していません。

●GIGA スクール構想に対する準備を進めていきます。WiFi も置きますが、誰かが大容量をダウンロードすると使えなくなるのではないかという危惧があります。

○理科実験など、予習として前もって動画を配信して見せておくなど、良い使い方があると思います。研究授業やプレスト等をやっていけば、生徒の前向きさがあるので良いものができるのではないのでしょうか。

●（教員の）小グループで、少しずつ広めていきたいという意見があります。

○3年生の数学演習の進み方が早く、ついていけない生徒がいるかもしれないと思いました。1、2年は教科書があるので進むスピードが上がるのは仕方ない。しかし演習の問題は早く進むのではなく、丁寧に時間をかけてやっていけば良いのではないかと思います。

●今年度は6月から全学年授業となり、早めに進めていく必要もあります。

●（見学された授業は）理Ⅰ型、理Ⅱ型の生徒なので、ほったらかしや置いてきぼりということはなく、目標に合わせて進められています。

*学校経営計画の進捗状況について

→レジュメに沿って説明。

→今年は例年通りに行かないことばかりで対応に追われている状況がある。

→今年、土台をしっかりと作るための観点をまとめました。

①互見授業の実施 ②新カリキュラムの編成 ③キャリア形成支援（総合的な探究の時間） ④いじめ防止の組織的な取組 ⑤近い将来の生徒数減への対応

②について

●新カリキュラム編成に向けては、現行と大きく変わる点もあり、なかなか簡単には進まない。

○私は理型に進みました（文系への変更も可能であるから）。理型か文型か、高校に入って早い時期（高1）で決めてしまうことについてはどうなのかと思います。

○学ぶべきものを学び、受験にもきちんと対応してほしいです。

●大学受験に必要な科目なのに、なぜ勉強しなければならないか、という意識をどのように打破していくかが課題です。

●大学入試が変化しない限りは、高校での指導には限界があるのではないのでしょうか。

●理科の専門科目を2年生から履修できるように考えている。

○理科について、（専門科目）物理が3年からスタートしたので（受験に向けては）しんどかった。教科書を終わるのがギリギリになる。その点、2年から専門科目を履修できるのは良いことかなと思います。

○春日丘を予備校化してほしい。いろんなものを幅広く学んでほしい。

●仮に校長が（予備校化）しようと思ってもならないと思います。（笑）

○数学については、経済学部や心理学部でも、多くのデータを扱うので、学んでおくべき内容だと思いますが、受験とのバランスでどこまで教えることができるか、難しいかも知れませんね。

○大学は、社会で生きていく力を身につける場所だということを忘れないでほしいものです。

③について

○ディベートの中味は？

●細かい内容については決まっていないが、高校生にとって身近な課題を設定すると聞いています。

○ディベートは（実施される）先生方の力量が問われます。

その他

○コロナ禍で大変だと思いますが、学校行事をしっかりと実施していただきたい。

○行事もみんなで取り組める、活気のある学校であってほしいです。

●修学旅行は東京の予定で計画しています。何かあれば保護者の方が迎えに来ていただける場所を考えております。

○生徒には一生に一回のことなので、ぜひ実施の方向でお願いします。